

発行 財団法人盛岡国際交流協会
〒020-8531
岩手県盛岡市若園町2番18号 若園町分庁舎2階

TEL 019-626-7524 FAX 019-622-6211
URL <http://www.e-morioka.com/~moriintl/top.html>
E-mail moriintl@nifty.com

米国の事例に学ぶ国際理解講座を開催しました

プラザおでっの大会議室で2月22日、国際理解講座を開催しました。参加者70人。

「バーモントの視点、岩手との関連性～地域の独立自存の可能性を探る～」と題して、アメリカ・バーモント州在住の金子千保さんにコミュニティが支える食とエネルギーについて、講演をしていただきました。

「C S A (コミュニティ・サポーターズ・アグリカルチャー)」の実例として、顧客と年間契約を直接結んでいるという農家の具体的なお話のほか、地域の資源を活用し、脱石油型社会を目指す活動を行う「トランジション・タウン」という地域があること、エネルギーを無駄にしないように共有するコミュニティ、「コウハウジング」という集合住宅があることなど、限られた講演時間の中で、たくさんの実例を発表していただきました。



講師の金子千保さん

最後に、「個々の意見は行政を動かさないが、多くの人が集まれば動かせる。コミュニティは地域を支える大切なものです」と参加者の皆さんに伝えていました。

参加者からは、「まだまだお話を聞きたかった」、「C S Aやトランジション・タウンなど興味深い話が聞けて良かった」などの声をたくさんいただき、盛況の国際理解講座になりました。



バーモントのC S Aの事例を紹介 (上)
参加者の質問に答える金子さん (右)



食を通してパラグアイを知る

プラザおでっの生活アトリエを会場に11月10日、パラグアイ料理講座を開催しました。講師は、パラグアイ・ピラポ市出身で日系二世の馬淵由美枝さんです。

メニューは「トウモロコシのチパ」と「ボリボリスープ」です。「チパ」はキッシュのような食感のパン。「ボリボリスープ」はトウモロコシの団子を入れたスープです。どちらも癖になる美味しさでした。

試食後の文化紹介では、入植当時の苦労のようすのほか、意外と岩手県とのつながりが深いことなどを教えていただきました。

19人の参加者からは「短時間のうちにパラグアイについて理解できた」や「美味しくて簡単に作れるので家でも作ってみたい」などの感想が寄せられました。



ボリボリスープの団子作り



パラグアイの文化紹介

トウモロコシのチパ を作ってみよう!

<材料 (4~5人分)>

- ・冷凍コーン・・・・・・・・200g
- ・玉ねぎ・・・・・・・・1個
- ・ピザ用チーズ・・・・・・・・80g
- ・卵・・・・・・・・1個

<作り方>

- ①玉ねぎを粗くみじん切りにし、フライパンにサラダ油(適量)をしき、塩・こしょうで炒め、粗熱をとっておく。
- ②冷凍コーンを少し解凍し、ミキサーまたはフードカッターで砕く。
- ③ボールに①、②を入れ、ピザ用チーズ、卵、小麦粉を入れて混ぜ合わせ、30分程度休ませる。
- ④耐熱皿にサラダ油を塗り、③の生地を流し入れる。
※パウンド型の場合は、クッキングシートを敷く。
- ⑤180度のオーブンで50~60分程度焼く。
- ⑥粗熱をとってから、切り分けて完成。



焼きあがったチパ♪

3月11日で東日本大震災の発生から1年が経ちました。沿岸では復興に向け一步一步歩みを進めています。盛岡市には、沿岸から多くの方が避難し、居を構えた方もいます。

そんな中、陸前高田市で被災し、現在盛岡市に住んでいる中国人と出会いました。震災から1年。今思うことを綴っていただくことができました。

3.11 東日本大震災から1年経って…

周 海梅 さん（中国）

2011年3月11日。すべての人たちが忘れたくても忘れられない1日となりました。

私は、留学のため日本に来て学校を卒業後に結婚し、夫の転勤で陸前高田市に住んでいました。知らない土地での生活がやっと穏やかに送れるようになったとき、千年に一度と言われる大地震・大津波に襲われました。自宅や車などすべてのものを流され、夫と2人、着の身着のまま波に追い駆られながら逃げ出しました。海から2kmほど離れたところに住んでいたのですが、津波がここまで来ることは誰も思わなかったので、近所の多くの人々が逃げ遅れ、命を奪われました。

街が破壊され、すべてが瓦礫になりました。有るべき物の姿が一つも残っていません。すべてが消されました。あの光景は今でも目に焼きついています。

幸いなことに日本の支援制度は整っています。何もない状態から皆さんに食品や衣類、生活用品まで様々な支援を受け、少しずつ立て直し、生活や街の再建に努めるようになっています。時間は掛かりますが、もっと美しい街を再建できると信じています。



震災後の陸前高田（2011.5）



周さん（左）と父と妹

あれから1年、3月11日が近づくと気持ちが少し弱くなり、悲しくなります。私たちが経験した災害を未来の世代に残したくない、経験させたくないという気持ちがますます強くなります。自分のため、未来のため、防災意識をもっと高めなければなりません。避難設備の基準も見直さないといけません。このような大災害は少ないと思いますが、無いとは言えません。避難指定場所で命を落とすことがないように、水門を閉じるために消防団員が犠牲にならないようになど、たくさんの課題が残っています。

3・11を乗り越え、生きて来た人々は親族の死や財産の流失、失業など様々な思いを抱えています。再スタートとは言え、なかなか踏み出せない人や進みたくても進めない人たちはまだまだたくさんいます。私たち被災者が本当の再スタートを切るためには、皆さんの理解と力が必要です。

被災地が1日も早く復興することを願います。

1月30日から3月12日の日程で、全6回コースのロシア講座を開催しました。今回の講師は、ロシア・ハバロフスク市出身の吉田アレクサンドラさん。参加者15人。

ロシア語のアルファベットや簡単なあいさつ、旅行で使えるロシア語を学びました。また文化紹介では、ロシア人のジェスチャーや民謡のほか、ロシアの各家庭にサウナがあるのが一般的ということも教えていただきました。



ロシアのサウナ事情を説明中…

ロシアの魅力盛たくさん！ロシア講座



ペリメリの具を包みます

参加者の皆さんは、何度も発音の練習をしたり質問をするなど、積極的にロシア語を学んでいました。また、講師が持参したロシアのハーブティーを飲みリラックスしながら文化を紹介する講師の話に耳を傾けていました。

最終回は料理紹介を行い、水餃子のような「ペリメリ」と代表的なロシア料理の「ボルシチ」を作り、おいしいロシアも満喫することができました。

外国人向け説明会のお知らせ

◆新しい在留管理制度を知ろう！

平成24年7月9日から始まる新しい在留管理制度について、入国管理局と盛岡市の担当者が説明し、質問にお答えします。

日時：平成24年4月28日（土）

13：30～15：00

場所：プラザおでつて

3階大会議室

参加費：無料

定員：先着50人



新着図書のご紹介

協会では賛助会員の方に図書の貸出しを行っています。以下の本が仲間入りしましたので、ぜひご利用ください。

(平日9：00～17：00、土日祝日を除く)

- ◆ インド人の頭ん中 (冬野 花)
- ◆ 中国マネーの正体 (富坂 聡)
- ◆ 世界を変えた10冊の本 (池上 彰)
- ◆ 池上彰の学べるニュース<3>国際問題・外交編 (池上 彰)
- ◆ 日本人だけが知らない日本人のうわさ (石井 光太)
- ◆ いま誰もが気になるアフリカの大疑問 (ニュースなるほど塾)



★平成24年度賛助会員募集★

協会の事業は皆さんの会費で成り立っています

賛助会員になっていただくと、協会主催の講座などの先行申し込みや参加費の割引、協会機関紙「国際交流もりおか」の送付、図書の貸出しが受けられます。

【年会費】

個人会員 1口 1000円

団体会員 1口10000円

盛岡国際交流協会キャラクター モリーラ



平成23年度ももうすぐ終わります。早いですねえ。来年度は当協会の設立20周年を迎えます！記念イベントを企画中です。お楽しみに♪ (にゃーご)

編集後記